

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 1 報
千葉県農林水産部
令和4年5月24日

植付け後の低温、日照不足で茎数が少なめです 浅水管理で茎数の確保に努めましょう

[生育概況]

育苗期間中の3月下旬から4月下旬にかけては、気温がやや高く、苗丈はやや長めであったものの順調に生育しました。植付け後の4月下旬から5月中旬にかけ、低温・寡照条件で推移しました。また、降水量が多かったため、深水となっていたほ場が見られました。その結果、全体的に草丈は長く、茎数が少なくなっています。

なお、一部のほ場では、スクミリンゴガイの食害があり、藻類やホタルイ、還元障害の発生が見られます。

表 1 品種別の生育状況（5月20日現在）

品種	植付時期	平年比※		
		葉令の進み	草丈	茎数
ふさおとめ	4月20日	やや遅	長	少
ふさこがね	4月20日	並	やや長	少
コシヒカリ	4月20日	並	やや長	少
	5月1日	並	やや長	少
粒すけ	4月20日	並	長	少

※平年比は過去10か年（2012～2021年）の平均値との比較。

ただし、粒すけは過去7年間（2015～2021年）のデータと比較。

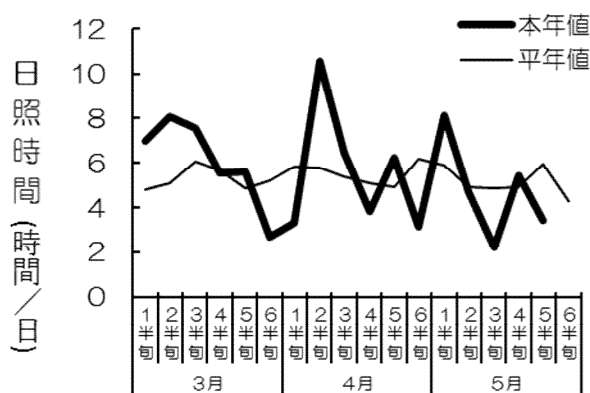
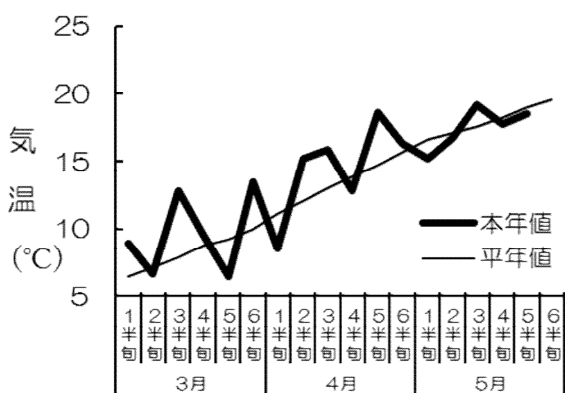


図 1 日平均気温の推移 (アメダス、佐倉)

図 2 日照時間の推移 (アメダス、佐倉)

[これからの管理のポイント]

■ 浅水管理で分けつの促進を！

いずれの品種でも茎数の少ないほ場が多いです。浅水管理で早急に茎数を確保しましょう。

■ 中干しの適期実施

生育が確保されたら、中干しの準備を始めます。中干しは過剰分けつを避ける重要な管理です。適正な茎数確保に加え、根の活性を高めることで登熟向上や倒伏防止につながります。中干し開始の目安は、「表2」を参考にしましょう。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m ² (27本/株)	480本/m ² (27本/株)	440本/m ² (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m ² (18本/株)	310本/m ² (17本/株)	300本/m ² (16本/株)
	5月1日			
粒すけ	4月20日	472本/m ² (26本/株)	440本/m ² (24本/株)	

※（ ）内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安
極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがある

■ 病害虫の適期防除

病害虫発生予報第2号（農林総合研究センター5月18日）によると、スクミリンゴガイの発生量は「やや多」、いもち病・イネミズゾウムシは「並」の予報となっています。ここ数年、いもち病の被害が多くなっています。今後、いもち病の発生を防ぐため、補植用の置き苗は早めに処分しましょう。病害虫発生予察情報は、千葉県農林総合研究センター病害虫防除課ホームページをご覧ください。



○スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミリンゴガイは、九十九里沿岸部を中心に被害が発生しています。本年は、草丈が長くやわらかく生育していますので、今後思わぬ集中加害を受ける可能性もあり、しばらくは油断禁物です。防除対策では、初期の食害を避けるため、浅水管理や薬剤防除を実施します。また、地域活動により全体の密度を減らす取組も重要になります。



■ イネばか苗病の抜き取りのお願い

本田でイネばか苗病が発生し放置すると、収量に影響するほか、胞子が飛んで周りのほ場にも伝染します。特に、採種ほ場の周辺で本病が発生すると、その採種ほ場では種子として使えなくなる場合があり、優良な種子の供給に支障をきたす恐れがあります。本病の発生が見られましたら、出穂前までに罹病株を株ごと抜き取り、田んぼから離して埋設処理するか焼却するなど新たな感染源とならないよう防除をお願いします。



■ 還元障害（ガス沸き）が見られたら

水はけの悪いほ場や、秋に耕うん出来なかったほ場では、温度が上がると稲わら等が急激に分解して還元障害が発生し、分けつが抑制されることがあります。その場合には、速やかに落水して土壌中のガスを抜き、根の活力を高めます。

＼ 生育と作業日の目安が分かる！ ／

水稻生育予測システム

「でるた™」(運用試験版)

運用試験とアンケートにご協力ください！

**スマホで
簡単操作！**

※ 表示される作業日は目安です。作業及び防除は、実際のほ場をご確認いただき、皆様の最終的な決断により実施してください

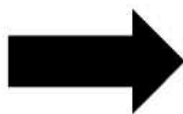
アプリ

品種と移植日を選択すると
作業日の目安が表示されます！

水稻生育予測システム
「でるた™ (試験版)」

品種を選択：
品種を選択して下さい

移植日を選択：
移植日を選択して下さい



「粒すけ」4/20移植の生育予測
(7/15までの気象データより)
幼穂形成期 : 6/23
出穂期 : 7/18

この予測から推奨される作業時期
追肥 : 6/30
斑点米カメムシ類対策
雑草刈り : 7/4まで
防除1回目: 7/21
防除2回目: 8/2
収穫 : 8/25

一覧表

6品種※の移植日ごとの
作業日の目安が一覧で表示されます！

水稻生育予測システム「でるた (試験版)」
7/15 までの気象データを基にした予測です。

ふさおとめ									
移植日	生育予測		推奨される作業時期						
	幼穂形成期	出穂期 予測日	追肥	斑点米カメムシ類対策			防除 2回目	収穫	
				雑草刈り 期限	防除 1回目	防除 2回目			
出穂期 25日前	幼穂形成期 7日後	幼穂形成期 7日後	出穂期 14日前まで	出穂期 3日後	出穂期 15日後	出穂期 33日後			
4/1	6/9	7/4	6/9 ~ 6/16	6/20	7/7	7/19	8/6		
4/2	6/10	7/5	6/10 ~ 6/17	6/21	7/8	7/20	8/7		
4/3	6/10	7/5	6/10 ~ 6/17	6/21	7/8	7/20	8/7		
4/4	6/10	7/5	6/10 ~ 6/17	6/21	7/8	7/20	8/7		

※ふさおとめ、ふさこがね、コシヒカリ、粒すけ、アキヒカリ、夢あおば

〔お問い合わせ〕
千葉県農林総合研究センター 研究マネジメント室
(TEL: 043-291-9985)



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/delta.html>

ジャンボタニシ被害は 複数の対策を組み合わせせて防ぎましょう!

【春】侵入防止

水路で越冬した貝がほ場に侵入しないよう、ネットや金網を取水口に設置しましょう。網の目が細かすぎると、枯草などのごみが詰まりやすいので9mm程度の網目がおススメ!
小さい貝はネットをすり抜けるため、浅水管理や農薬散布と併用します。



【田植え時】食害防止(どちらか選ぶ)

①浅水管理

水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植え後約3週間、水深を4cm以下(理想は1cm)に維持しましょう。

⇒【均平のコツ!】をチェック

②農薬散布

使用にあたっては、表示された使用方法等を必ず確認しましょう。効かせるにはコツがあります!

⇒【農薬のコツ!】をチェック

苗が5葉期以降になると、食べられにくくなります。
それまでの間、①または②でしっかり食害を防ぎます。



【秋・冬】越冬防止

冬期の耕うん

物理的に貝を破壊する効果と、土から出して寒さにあて凍死させる効果があります。⇒【耕うんのコツ!】をチェック

※秋の石灰窒素施用(水が確保できる場合、実施可能)

稲刈り後、水温が15℃以上あるうちに、3~4日間湛水した後散布します。
魚毒性が高いので田面水は水路に流さず自然落水させます。



【冬】水路の泥上げ

常に水や泥がある水路は冬でも暖かく、越冬に最適な場所です。
1~2月に泥上げし、掘り上げた泥は、ほ場に入らないよう、薄く広げて貝を寒風にさらす、又は潰すなどして、生き残らないように処理します。



均平の コツ!

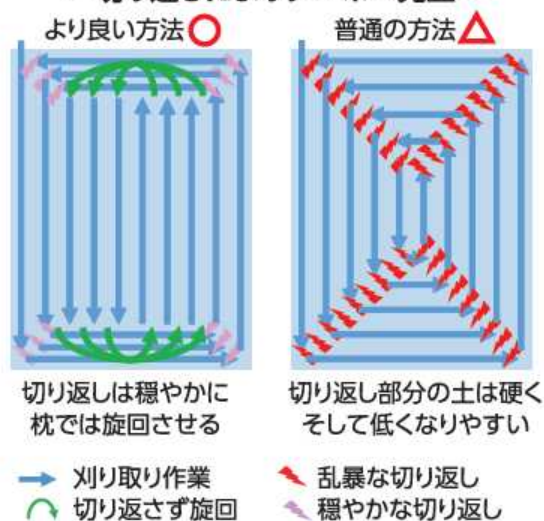
均平は、日頃の作業から!

均平であれば浅水管理を効果的に実施できます。また、被害は水が深い場所に集中しますが、均平だと貝も分散して欠株に至らず、被害を抑えることも可能です。

レーザーレベラーがなくても、水が深くなる場所を記録しておき、冬期や代かき前にならすことができます。また、特にコンバインなどでの農作業時にほ場内の特定の場所の土を硬くしたり低くしたりしないよう、注意して作業することも有効です。

(千葉県農林総合研究センター)

コンバインの操作方法に注意!
～切り返しによりデコボコ発生～



農薬の コツ!

① 散布は「貝が動いているのを確認してから!」

「スクミノン」「ジャンボたにしくん」などの殺貝剤は、貝が食べないと効果がありません。貝は寒いと農薬を食べず、水温15℃以下では効果が著しく低下します。貝が触角を出して、活発に動いている姿を確認してから使いましょう!

② 農薬散布後3～4日間、水は深く!

ジャンボタニシは、水の中でしか農薬を食べることができません。散布後は水深を3～5cmに保ち、貝に農薬をしっかりと食べさせましょう!また、農薬がくずれると食べられなくなります。水の出入りを少なくし、3～4日間は、田面を静かに保ちます。

③ 殺貝剤と食害防止剤の併用はダメ!

ジャンボタニシに登録のある農薬には、貝を殺す殺貝剤と、貝をマヒさせるだけの食害防止剤があります。

「パダン粒剤4」などの食害防止剤を使用すると、貝がマヒして動けなくなり、稲も食べませんが、「スクミノン」などの殺貝剤も食べなくなります。「パダン粒剤4」の効果は1週間程度なので、苗箱施用などしている場合は、殺貝剤の散布を遅らせるなど、併用しないよう注意しましょう!

触角



耕うんの コツ!

耕うんは、「回転は早く、スピードは遅く!!」

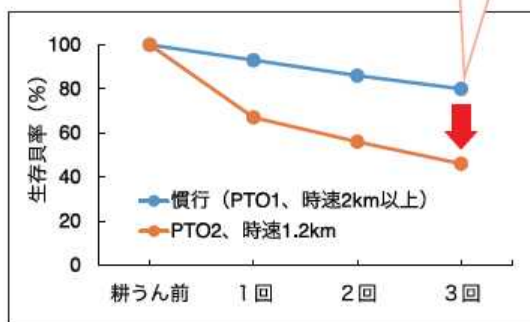
回転速度PTO2、時速1.4km以下で耕うんすることで、殺貝効果UP!

耕うん回数を重ねるごとに生存貝率は低下します。最も殺貝効果が高いのは、地面が固く締まっている1回目の耕うんです。忙しくて何度もゆっくりできない人は、「最初の1回だけ」、「被害の多いほ場だけ」、「被害の多い場所だけ」など限られた範囲だけでも、回転は速く・スピードは遅くで耕うんを!



耕うんで破壊された貝
(試験のために貝を白く塗っています)

生存貝率: 慣行80%に対し、PTO2・時速1.2kmなら46%まで減らせる!



耕うん回数と貝密度の推移

注) 本データは、殻高35mmの貝を想定した生存貝率の推定値を示す

(千葉県農林総合研究センター)

新たな場所にジャンボタニシを放すことは、 絶対にやめてください!

千葉県は気候が温暖で、県内どこでもジャンボタニシが越冬できます。

貝の活動をコントロールすることはできず、一度定着してしまうと根絶は困難です。



ジャンボタニシ対策として「ツバキ油粕(ツバキ油、 椿サポニン、ツバキの種子)」を使用しないでください!

農薬取締法において、ツバキ油粕は、「資材の原材料に照らし、使用量や濃度によっては農作物等、人畜及び水産動植物に害を及ぼすおそれのあるもの」に指定されており、貝の防除には使用できません。



【お問合せ】

農林水産部安全農業推進課 043-223-2888 または、所轄の農業事務所まで

まだ間に合います！

主食用米から

飼料用米等 への転換に 取り組みましょう！

- 令和3年産米は、前年からの民間在庫量が多かったため、価格が大幅に下落しました。令和4年産においても、引き続き、主食用米からの転換が必要な状況が続いています。
- 飼料用米を始めとして、定着性・収益性の高い品目や、将来の需要増が見込まれる品目などへの転換を図り、安定した水田経営を目指しましょう。
- 田植え後の今からでも、飼料用米に転換することもできます。

新たに飼料用米（主食用品種）に一括管理方式により取り組んだ場合の収入試算

	飼料用米 (主食用品種)	備考
収量(kg/10a)	544	R3の千葉県平均の標準単収値です。
販売単価(円/60kg)	600	参考単価であり、出荷先により異なります。
販売収入(円/10a)	5,440	収量×販売単価により算出しています。
【国】戦略作物助成(円/10a)	80,000	一括管理方式において、地域の標準単収値を出荷した場合です。
【国】産地交付金 生産性向上の取組(複数)(円/10a)	2,600	稲わらのすき込みや、疎植栽培などが対象となります。 単価は変動する場合があります。
【県】飼料用米等拡大支援事業 拡大支援型(円/10a)	5,000	前年度と比べ、拡大した面積が対象となります。
【国】都道府県連携型助成(円/10a)	5,000	国の都道府県連携型助成が上乗せされることにより、10,000円/10aになります。
【市町村】市町村助成(円/10a)	α	助成の有無や支援内容は、市町村により異なります。
合計(円/10a)	98,040 + α	

詳細は、お住まいの市町村、千葉県各農業事務所、千葉県農業再生協議会

(043-223-2891)にお問い合わせください。

右のQRコードからも様々な情報を入手できます。御活用ください。

